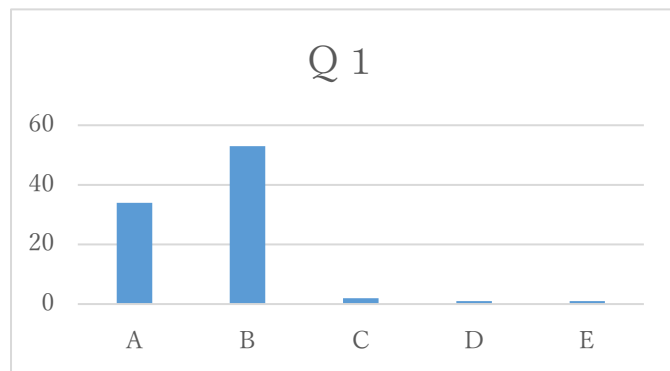


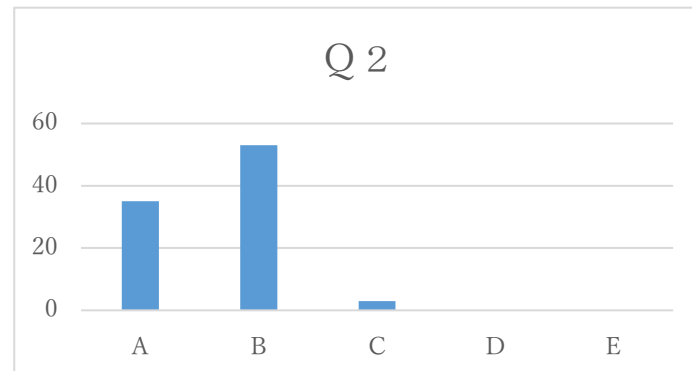
令和元年度学校評価 保護者アンケート集約結果報告

91名の保護者の皆様からアンケートの御回答をいただきました。お忙しい中御回答いただき本当にありがとうございました。以下のとおり、集約結果をお知らせします。なお、評価につきましては、『A：強く思う B：そう思う C：あまり思わない D：まったく思わない E：わからない』で回答していただいています。

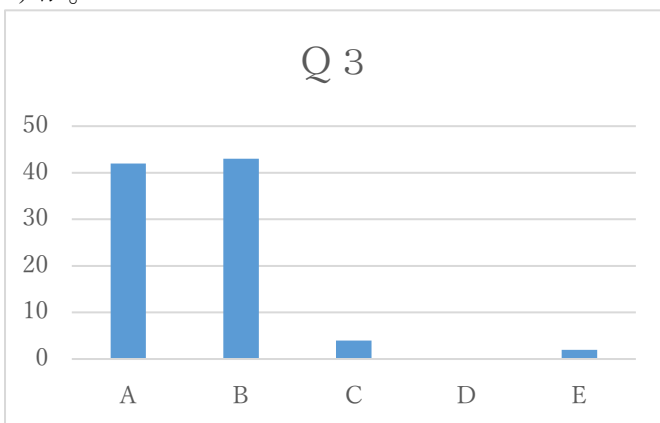
Q1 学校は、「教育目標」や「子どもにつけたい力」を伝えていると思いますか。



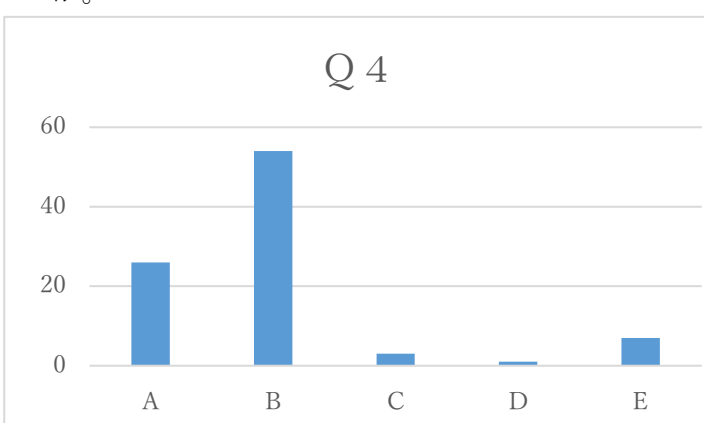
Q2 「個別の支援教育計画」の作成にあたり、学校は保護者とよく話し合っていると思いますか。



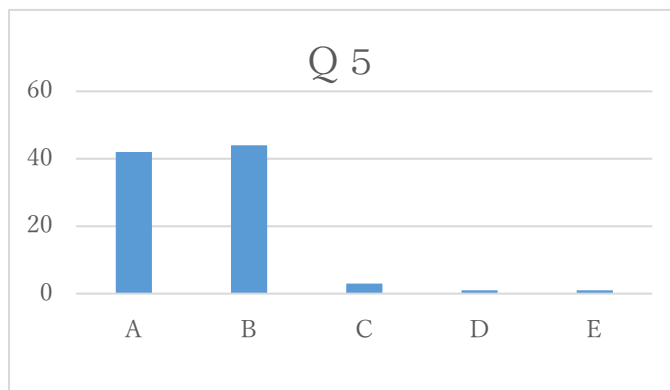
Q3 学校は、子どもの実態に合わせて指導方法を工夫し、分かりやすい授業を進めていると思いますか。



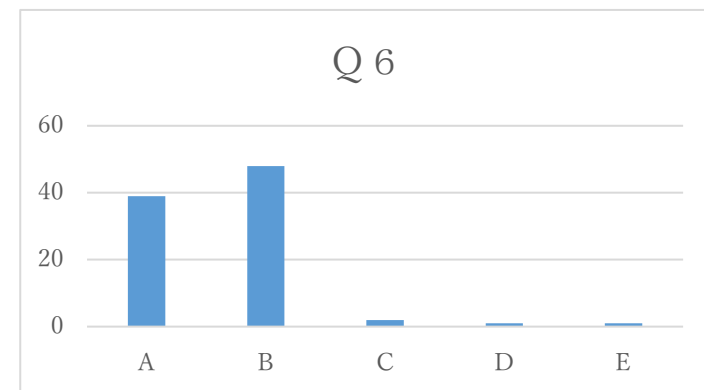
Q4 卒業後を見すえて、自立する力や働く力を育て、進路希望の実現に向けた指導を適切に行っていますか。



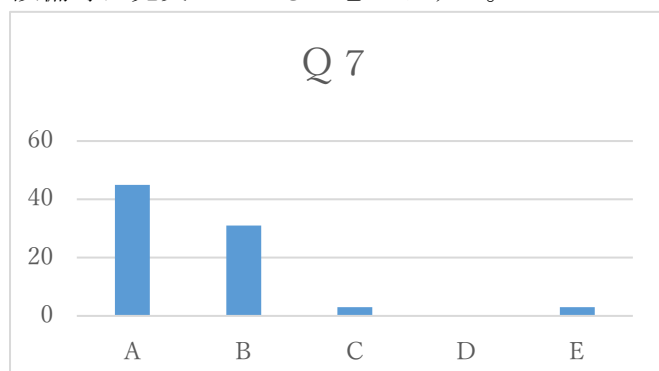
Q5 学校は、体力向上や保健指導等、子どもの健康に対する指導を適切に行っていると思いますか。



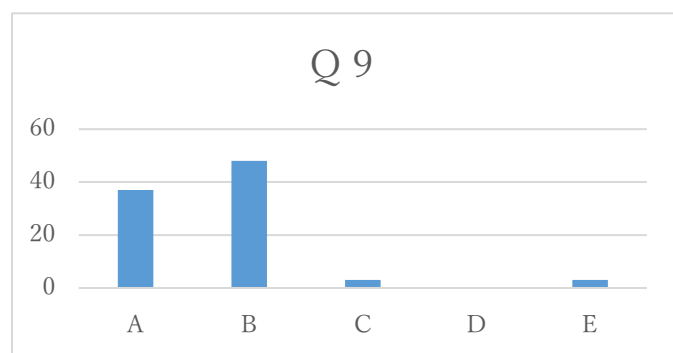
Q6 学校は、子どもの安全についての指導や配慮を対す適切に行っていると思いますか。



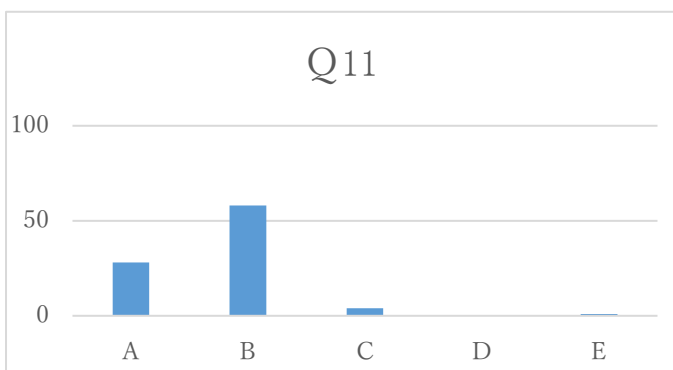
Q 7 子どもの教育活動を進める上で、学校の施設設備等は充実していると思いますか。



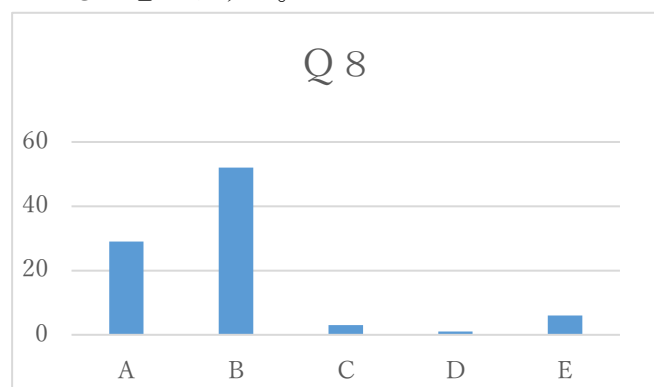
Q 9 参観日や懇談会は、子どもや教育活動を理解とする機会になっていると思いますか。



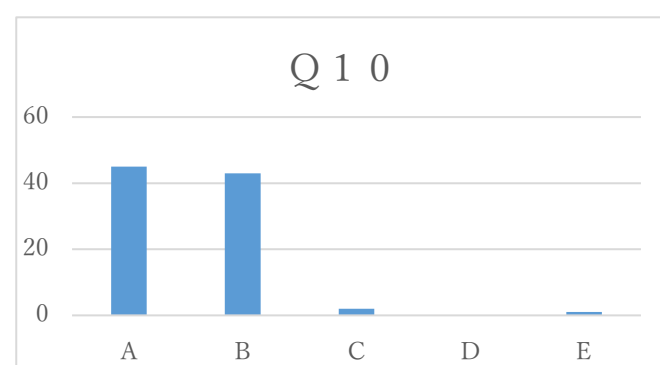
Q11 学校が発信している「学校だより」や「ホームページ」等は、子どもたちの生活や学習の様子等がよくわかるものになっていると思いますか。



Q 8 地域の学校等との交流や地域とつながる取組を進めていると思いますか。



Q10 子どものことについて、学校と相談がしやすいと思いますか。



<保護者の御感想や御意見から>

- ・児童生徒のもっている力に合わせて工夫を重ねてもらっている。行事は、年々いいものになっており、努力を感じる。バス到着時刻の課題が解決され、うれしい。より一層の安全面・教育面の向上を望む。
- ・地域との関わりは難しいと思うが、他の学校や地域に支援学校の存在やどんなところかを知ってもらうことによって理解が深まり子どもたちの生活のやすさにつながるのではないと思う。
- ・地域とのつながりについては、PTAとして保護者全体がもっと積極的に取り組める工夫が必要である。PTAとしても積極的に関わろうと思うが役員会が少ないのでなかなか進まない。そのような内容を検討する会の開催もしてほしい。
- ・てんかん発作時にダイアップを挿入したときの対応について検討してほしい。
- ・給食指導においては、毎日いろいろな工夫をしてもらい少しずつ苦手なものを克服しており大変感謝している。登校時にいつも元気に玄関を出る姿をみると学校で楽しみがあるのだと感じています。
- ・入学時に心配していた食べる力については丁寧に指導していただき、いろいろな物が食べられるようになり本当にレベルアップした。自分で何でもしたいと思う気持ちが大きくなり、自分でできることは自分でするようになった。また、言葉の力もつき、よく話せるようになった。学校で子どもの力を引き出してもらっているからだと思う。支援学校に入学して本当によかったと思っている。

- ・校外学習や交流及び共同学習等、家ではできない体験をさせてもらってうれしい。給食では、栄養のバランスをすごく考えてもらっているのがうれしい。
- ・一人一人の子どもに合わせて丁寧に指導をしてもらっているのですばらしい。子どもも楽しく登校している。
- ・子どもの成長が毎日楽しみでこの学校に転校してよかったと思っている。子どもにあった学校だったといつも感じている。
- ・先生方みんな頑張ってくれている。
- ・インフルエンザや感染症がでたとき、教えてもらえると家でも「うがい・手洗い」を徹底したり、マスクを着用したりと感染予防ができるのでお願いしたい。病院受診も休校になったことを理解させるのも大変である。
- ・参観日の写真撮影をさせてほしい。平日開催なので仕事の都合で観に行けないので祖母に頼んで撮影してもらい、子どもの普段の様子を理解していた。
- ・いつもありがとうございます。
- ・下校時間や時間割をホームページに載せてほしい。出先で確認がしたいときがある。
- ・作品展示については、4月の確認で了解した人については記名をして展示してほしい。
- ・今まで保護者側から思いや意見を述べてきたが回答に大変時間がかかったり、曖昧な対応をされたこともあり不信感に発展してしまう。
- ・本心が言いにくい保護者があるので、言いやすい環境を作ることが大切である。
- ・担任の先生とは学習面等でいつも話をさせていただき、親として学んでいる。
- ・連絡帳をみてその日の様子がよくわかる。
- ・クラブ活動を増やしてほしい。(月2回は少ないです)
- ・学校に行きづらかったときに家庭訪問や電話をしてもらい感謝している。一人一人の得意なことを発表できる機会を与えてもらえありがたかった。連絡帳も丁寧に書いていただきわかりやすい。
- ・地域の事業所のイベントの情報を学校から配付してほしい。事業所のイベントに参加(見学)することは卒業後の進路を考える上で参考になる。子どもたちの将来に役立つ情報を積極的に発信することは学校の役割だと思う。地域とのつながりを大切にしてほしい。

<アンケートの結果を受けて>

本校教育に対する評価や御意見を多くの保護者の方々からいただくことができました。今年度も子どもたちの生きる力や将来の進路希望の実現を目指し、つきたい力について、年間を通じて家庭訪問や学期末懇談等で保護者の方々の御意見もお聞かせいただきながら「個別の教育支援計画」などを作成してきました。

今後も引き続き丁寧に説明していきたいと考えています。さらに、一人一人の子どもたちの様子だけではなく、授業参観・行事・進路の取組・地域での活動などの学校の様子について、連絡帳・学級通信・学校だより・懇談会などでお伝えしながら、学校と家庭、また地域との連携を密にしていきたいと思ひます。健康面・安全面につきましても、子どもたちの安心・安全を守る指導に一層努めていきます。

アンケートの回答を真摯に受け止め、今後も引き続き保護者や地域の方々の期待に応える学校づくりに励んでいきます。今後とも保護者の皆様の変わらぬ御支援と御協力をどうかよろしくお願ひします。なお、質問事項につきましても、すぐに改善ができるものについては早速対応してまいりますが、様々な視点で検討が必要な場合につきましても、検討を重ねていきたいと思ひます。

